

ベトナム現地情報（2021.08.18）

ジャパン証券 北山亨

第 13 回「ベトナムとコロナ対策」

敵と戦うように 新型コロナと戦う。ベトナムの最高指導者、グエン・フー・チョン氏は先月 29 日、コロナ感染対策について声明を発表した。コロナの抑え込みに成功していたベトナムだが、現在は感染拡大が続く。ワクチン接種は進んでいるものの、一度接種を受けたことがある人が全体の 7.44%、接種が完了した人が 0.84%と低い状態¹だ。そこで「ベトナムとコロナ対策」、「ベトナムとワクチン」の全 2 回に分け、コロナとの戦いを取り上げていく。

首相指示 16 号

今月 6 日、ハノイ市は先月 24 日から実施しているロックダウンを 2 週間延長すること（8 月 23 日の午前 6 時まで）を決めた。現在ハノイ市では生活必需品の購入を除き、外出を控えるように市民に求めている。

これに先駆け、南部の感染が拡大していたホーチミン市では先月 9 日からロックダウンを開始していた。さらに今月 15 日から 1 ヶ月延長することとなり、2 か月以上ロックダウンが続くこととなった。ベトナムのロックダウンは、首相指示 16 号と呼ばれる最も厳しい社会隔離措置である。ロックダウン前は食事のデリバリーが許可されていたが、現在は禁止されている。公共交通機関をストップさせ、不要不急の外出を禁じている。違反者には罰金を科しており、コロナ封じ込めに隙が無い。首都ハノイ市も同様の措置が取られている。

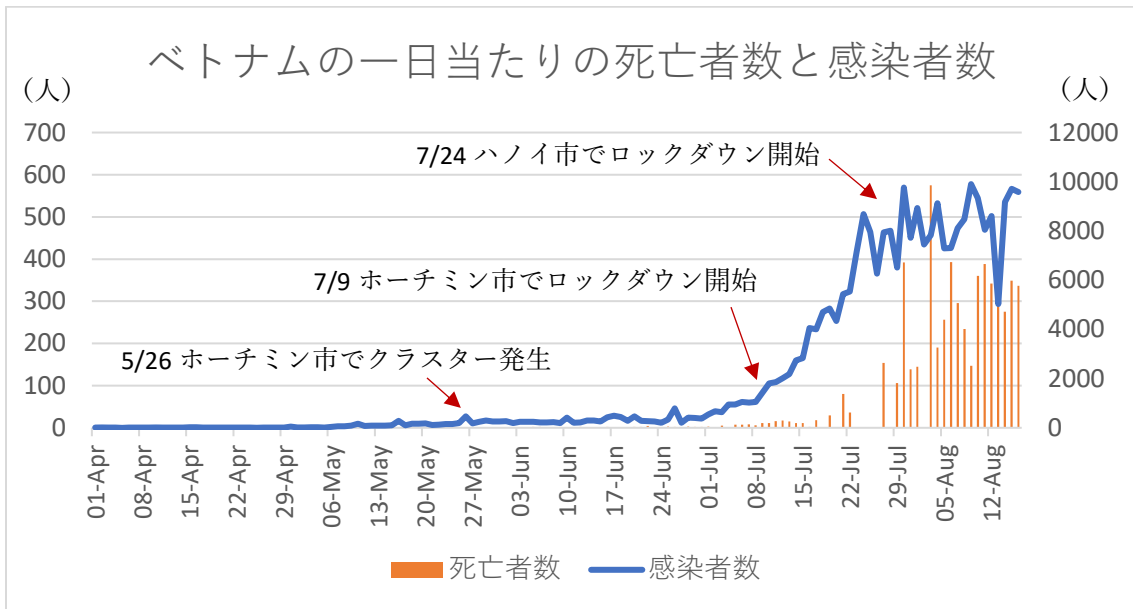


近くに大学があり、普段は若者で溢れる賑やかな通り。現在は閑散（左：5/25 右：7/28）

¹ WHO 調べ、8/16 日時点

ベトナムでは第3波の終息後、しばらく感染者数ゼロが続いたが、4月末から再び新たな感染者が現れた。5月になるとバクザン、バクニン省といった北部の工業地帯で感染が拡大。複数の工場が操業停止に追い込まれた（その後6月末にかけて収束していく）。

5月26日にホーチミン市で確認されたクラスターは、翌月には周囲の自治体への感染拡大につながった。7月4日にはバクザン省の感染者数を抜き、全国トップとなった。

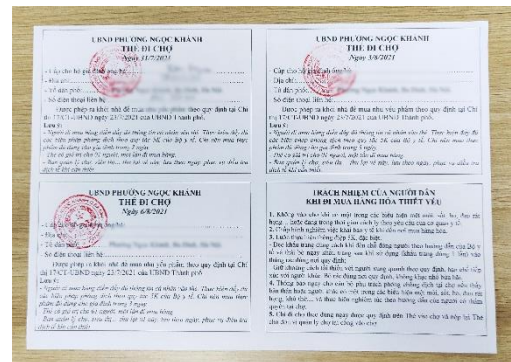


(出所) WHO、4月1日から8月16日まで

コロナを封じ込めるベトナムの取り組み

ロックダウンとなったハノイでは、指定した日の**買い物を認める買い物チケット²**が配られるなどコロナの封じ込めを強化している。

また人との接触を減らすため、ハノイ市では金融機関（銀行・証券など）やインフラ企業（電気・水道・通信など）、スーパー、薬局、医療機関などで働く、いわゆるエッセンシャルワーカーと呼ばれる労働者以



買い物チケット（本券は7/31、8/3、8/6有効）

²対象は**地元の市場**。ビンマートなどのスーパーマーケットは対象外だった。

外の外出自粛を求めている。仕事でハノイ市内を移動する労働者には、市内に設置された検問所で通行証の提示が義務付けられている。

この検問所は主に市内の区域の境に設置されている。係員が不足しており、警察の他に私服のボランティアが立っていることがある。



検問所では係員に通行証を見せる (JSI 撮影 8/10)

ベトナムは「5K」を感染対策のスローガンとして掲げている。「5K」はベトナム保健省が作成した標語で、マスク (Khau trang)、消毒 (Khu khuan)、間隔 (Khoang cach)、大勢で集まらない (Khong tu tap)、医療申告 (Khai bao y te) を指している。



(左/中央) 5K を呼びかける掲示物

(右) エレベーター内での注意 (CHÚ Ý)

5Kの一つである「医療申告」に一役買っているのが、情報通信省と保健省が共同開発したアプリ「Bluezone（ブルーゾーン）」だ。このアプリは、利用者が感染した際に濃厚接触者をアプリ登録者から探し出し、感染のさらなる拡大を防ぐことを目的としている。同省の調べでは、同アプリのダウンロード数は7月12日時点で4,000万を超えた。またアプリ内には医療申告や国内の移動申告などの機能も付いている。（写真はAppStore）



ホーチミン市は30,000床を超える11の野戦病院を作り、感染拡大と戦っている。ハノイ市も先月24日から急ピッチで野戦病院を作っており、今月末の完成を目指している。さらに当局はロックダウン中でも生産活動を続ける企業に「3 on-site」の実施を促している。これは自宅に帰らず、食事も睡眠も職場で済ませる取り組みだ。まさにコロナの抑え込みと経済活動の両立を目指しており、高い経済成長率を保ってきたベトナムの本気度が伺える。

また7月に入って当局は影響を受けた労働者などに対し、社会保険料の免除や給料手当といった26兆ドン（約1,248億円³）の支援策を発表した。その一方で都市部に出稼ぎに来た労働者の中にはコロナで職場が閉鎖され、故郷に帰る者もいた。

次回「ベトナムとワクチン」では、ベトナムのワクチン事情について取り上げる。

ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

³ 1 ドン = 0.0048 円（2021年8月18日時点、ブルームバーグ参照）